



発行:熊谷市 令和6年11月

1 熊谷市役所本庁舎の耐久年限が迫っています

熊谷市における公共施設マネジメントについては、市と市民との意見交換、市の最上位計画である「熊谷市総合振興計画」等と公共施設マネジメント関係計画との整合性確保、「熊谷市公共施設等総合管理計画」と施設分野ごとにまとめた各個別施設計画との統一性・一貫性の維持などの観点から、各計画の改善・改定を重ねながら、長期的な視点で、計画的に進めていきたいと考えています。

市役所本庁舎は、昭和47年度に建築された建物で、50年以上が経過し、老朽化が進んでいます。

耐久年限の目安である令和14年度まで10年を切っており、整備検討・計画・工事等の期間も考慮し、建て替え等も含めた庁舎整備の検討を進めているところです。

「熊谷市庁舎整備NEWS」は、本事業において検討されている内容をお知らせするとともに、広く地域にお住まいの皆様のご意見を募集するために発信するものです。

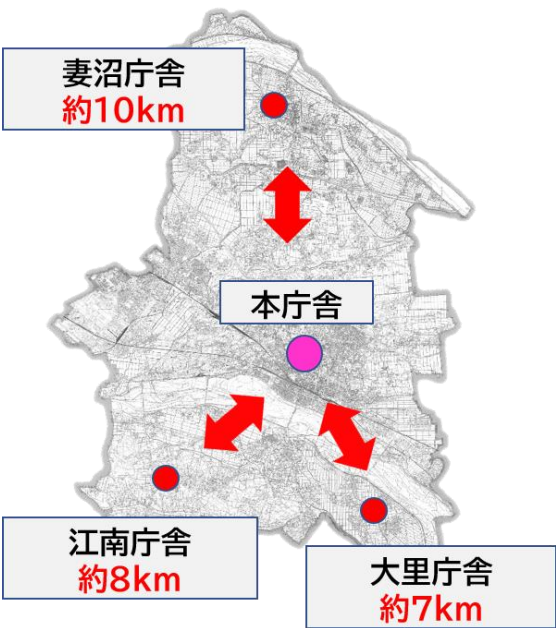


熊谷市役所
本庁舎

2 市役所の現状について

熊谷市では、合併後の平成20年度から分庁舎方式を採用し、本庁舎・大里庁舎・妻沼庁舎・江南庁舎にそれぞれ行政機能を分散していますが、一つの庁舎で用事が済まないことがあるというデメリットがあります。

「熊谷市個別施設計画(庁舎編)」にも記載していますが、本庁舎の更新に当たっては、各分庁舎における行政センター機能は維持しつつも、分庁舎方式は廃止する方向で検討しています。



本庁舎
事務棟 8階地下1階
議会棟 2階地下1階

大里町(2005合併)



大里庁舎
2階



妻沼町(2005合併)

妻沼庁舎
3階

江南町(2007合併)



江南庁舎
3階

	延床面積 (庁舎部分)	主な入居組織	建築年度	耐久年限
本庁舎	12,492㎡	市長公室、総合政策部、市議会など13部局(43課)	1972 (S47)	2032 (R14)
大里庁舎	2,344㎡	都市整備部(4課)	1983 (S58)	2043 (R25)
妻沼庁舎	3,707㎡	農業政策課、農業委員会	1982 (S57)	2042 (R24)
江南庁舎	3,784㎡	環境部(2課)	1999 (H11)	2059 (R41)

3 市役所本庁舎の課題

本庁舎では、現在様々な課題が生じています。雨漏りやひび割れ、給排水、空調等の設備は老朽化が進行しており、平成26年度着工の耐震改修工事で、大地震時に倒壊や崩壊するおそれは低くなったものの、建物自体の寿命は迫ってきています。また、待合・執務・プライバシーを確保できる相談等のためのスペースが不足しており、面積・構造の関係でバリアフリー化が未対応の部分もあります。

このような様々な課題も踏まえ、市民サービスを向上させる新庁舎整備の検討を進める必要があります。



4 現在の検討状況、今後のスケジュールについて(予定)

熊谷市では、令和5年12月に、市議会議員、外部有識者、公募市民、市職員等で構成する「熊谷市庁舎整備検討委員会」を設置し、市庁舎整備の在り方についての検討を開始しました。

また、本年度、市民の皆様を対象としたアンケートや、市民参加型ワークショップ等の実施により、市民の皆様が考える課題やニーズの調査を進めています。皆様のご意見や様々な課題を踏まえ、本年度は基本構想の策定を目指しています。

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度以降	
検討委員会の設置	基本構想の策定	基本計画の策定	施設の設計、工事等(時期未定)	
アンケート、ワークショップ等、市民・関係者のご意見				

■市民参加型ワークショップについて

本年度、「熊谷市民が20年後の熊谷市役所を考えるワークショップ」と題して、基本構想の策定に向けて、市民の皆様のご意見をお聴きする市民ワークショップを開催しています。

10月5日に開催した第1回は、18名の方に参加いただき、現在の庁舎の課題や将来の庁舎に向けた理想像など、活発な議論を交わしていただきました。

※詳しくは別紙をご参照ください。

11月16日 第2回
参加者募集中

詳細はこちら

<https://www.city.kumagaya.lg.jp/about/soshiki/sogo/kikaku/hokubukyoten/20241116ws2.html>

今後も、事業の進捗等についてこのニュースレターでお伝えしていきます。熊谷市の庁舎整備についてご意見等がありましたら、意見募集フォーム(下記QRコード)からお寄せください。いただいたご意見は検討の参考とさせていただきます。

